

## 今 後 の 農 業

### <ハイテク農業>

#### ○6次産業化

- ・農家が農産物の生産（1次産業）
- ・加工（2次産業）
- ・流通販売（3次産業）

まで手掛け雇用と所得を生み出し、若者から子供まで集落に定住出来る社会を作る。

#### ○ビジネスフロー

- ・各個人が所有する農地を借り上げて運営する農業生産法人に集約して生産規模を拡大。
- ・民間トップ企業から土を使わない水耕栽培の技術や生産コントロールするIT技術を提供してもらい、野菜などの農産物を栽培。  
農地の隣には加工工場を建設し、農産物に付加価値を付け、その製品をコンビニ等に流通販売する。

#### ○農林水産省

「食糧生産地域再生の為に先端技術展開事業」

国から独立行政法人、大学、民間企業等が事業を委託。

農業生産法人と協力。

ヤンマー、富士通、日立、井関農機等が考案した独自のハイテク技術を農水省に提案している。

農業に従事する若者がスマートフォンで種をまくロボットを操作したり、コンピュータで農作物の育成を管理したり、LEDランプで農作物の光合成を促したり、ロボットで収穫する、このような農業が実現する日が近い。